



第76回

The 76th Annual Scientific Meeting of the Japanese Association for Thoracic Surgery

日本胸部外科学会定期学術集会

Official newspaper of the JATS 76th Annual Meeting

第76回 日本胸部外科学会定期学術集会 始まる

2023年10月19日(木) ▶ 2023年10月21日(土)

発行所

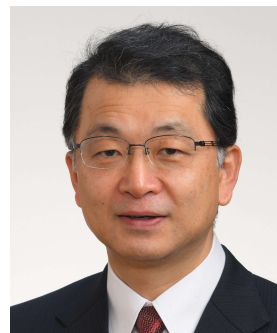
 日本胸部外科学会
 2023年10月19日
 本号 8項

統括会長 ご挨拶 ～ようこそ仙台へ～

本日より、学術集会がスタートします。新涼の清々しい秋に包まれたこの仙台の地で、全国からの会員の皆様をお迎えできることをこの上なく嬉しく感じております。COVID-19 パンデミックが実質的に終息した2023年、胸部外科学会学術集会が帆柱を高く張り全開にして進み出す時が来ました。

胸部外科学の黎明期から、本学会がわが国の胸部外科学発展の礎を築きその領域の医療を牽引してきました。それは単一学会が単独で達成してきたことではなく、基盤学会である日本外科学会や他の学術団体と強調し、また、欧米の先駆者集団である米国胸部外科学会からも多くの教示を受けながら、共に成長してきた歴史があります。外科系学会が数多くの困難な課題に直面している現代であるからこそ、視線を揃え、時に異なる視座から共に課題解決に挑戦する姿勢が大切です。Harmonization and Co-creation、調和と共創の精神が専門化した職能集団に求められているのではないのでしょうか。

76回目の歴史を刻むために奇をてらうことは必要ないと思います。それでも学術集会参加の効用を高める工夫は常に継続しなければなりません。何かしら新たな気づきが生まれる発表と討論の充実を目指して、絞られたテーマ構成、クリニカル・クエスションの明確化、討論時におけるエッセンス・スライドの共有、専門領域外からのインプット、地に足のついたグラウンド・プレゼンテーションの充実、このデイリー・ニュースによる事前予告と事後の振り返り、そして会期後のフィードバック等を試みます。また、来年の第77回学術集会での本格導入を見据えたパワーポイント上でのAIを用いた同時通訳表示の試行も予定しています。皆様どうぞ目を見張ってください。

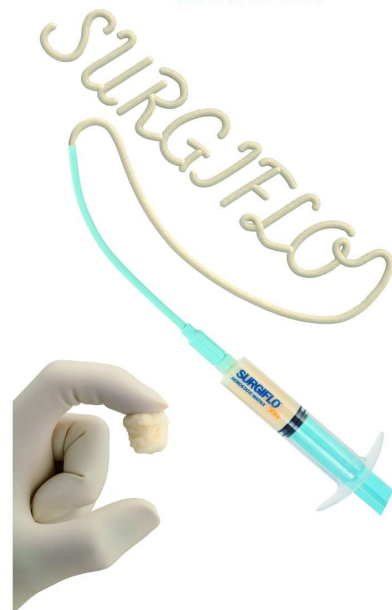


第76回大会
統括会長 齋木佳克

東北大学医学系研究科
心臓血管外科学分野 教授

ETHICON
Johnson & Johnson SURGICAL TECHNOLOGIES

SURGIFLO®
Hemostatic
Matrix Kit



高度管理医療機器 販売名：サージフロ® 承認番号：23100RZX00112000
製造販売元：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 メディカル カンパニー

250980-230684 ©J&J, KK 2023

Harmonization & Co-creation

- to go one step further -

呼吸器 分野会長ご挨拶

渡辺敦 札幌医科大学呼吸器外科

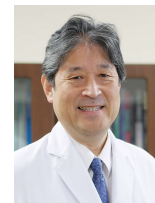


本日、学術集会開催初日となりました。これまで齋木佳克統括会長、食道分野会長渡邊雅之会長とともに企画準備に邁進してきました。ご参加の皆様にご挨拶いたします。

呼吸器外科分野では、19日と20日の二日間にわたり、多彩で興味深いプログラムを用意しております。海外からは5名の著名な先生による基調講演やジョイントセッションが企画されています。低侵襲・縮小手術を含めた上級セッション、若手中堅（JATS NEXT）の先生が主体的に企画した臨床的ジレンマの解決法を議論するセッション、ロボット支援や胸腔鏡手術の最新情報を発表する研究会など、最新の呼吸器外科の要点を学ぶ絶好の機会となること確信しています。グラウンドプレゼンテーションでは、座長と発表の先生に評価者となって頂きます。学術集会に於いて新たな知見を得るとともに、仙台の観光やグルメもお楽しみ下さい。

食道 分野会長ご挨拶

渡邊雅之 がん研有明病院食道外科



食道分野会長の渡邊雅之です。本学会では、テーマを絞ってClinical Questionを設定し、深く議論して一定の結論を導くことを目指しています。

食道分野では上級演題をビデオシンポジウム「cT3br, T4局所進行食道癌に対する低侵襲手術の妥当性」、パネルディスカッション「食道癌術後再建法と長期的なアウトカム」、ワークショップ「術野内再発を考える」、「食道癌手術の周術期管理を考える」、ディベート「サルベージ手術に予防的リンパ節郭清は必要か」とし、1つの会場で深く議論できる設定としました。

一般演題はすべてグラウンド・プレゼンテーションとし、ベテランと若手二人の司会のもとで進行する予定です。こちらでも、積極的な討論を期待します。それぞれのセッションの見どころをDaily newsで配信していきますので、是非ご覧いただきます様、お願いいたします。



～ 共に手を携えて ～

齋木佳克 東北大学心臓血管外科
渡辺敦 札幌医科大学呼吸器外科
渡邊雅之 がん研有明病院食道外科



＝オープニングムービー撮影時の様子＝
和やかな雰囲気の中でのオープニングムービー撮影となりました





呼吸器SY非小細胞肺癌に対する 縮小手術の適応

日時：2023年10月19日（木） 10:40～12:40
場所：会議棟 第4会場

本日10月19日午後より第4会場でシンポジウムを開催いたします。近年、肺がん診断精度の向上とともに手術症例においても小型病変の占める割合が増加しております。末梢小型肺がんにおける区域切除の優位性を示したJCOG0802、JCOG1211試験の結果からも、今後縮小切除の増加が予想されます。区域切除は施設間によって手術手技も多様であり、縮小手術の適応も様々です。また、高齢者では縮小手術の方が全生存率が良好とする報告もあります。

年齢因子、臓器機能によって部分切除・区域切除はどこまで許容されるのか、また、2cm以下でもhypermetabolic pure solid tumorは本当に縮小手術で良いのか。深部局在肺癌に対する適応はないのか。さらに、亜区域切除の妥当性はあるのか。非解剖学的切除時のサージカルマージンはどのように設定すべきか、など解決すべきclinical questionは尽きません。この点を激論していただき縮小手術の適応はどこまでなのか、今後の展望につながる多くの何某かの発見がこのセッションから生まれることを確信しています。

英国の大家Alessandro Brunelli先生をお招きし、信州大学の清水公裕先生、癌センター東病院の青景圭樹先生、広島大学の宮前隆洋先生、近畿大学の津谷康大先生と国内外のtop surgeonsが激論を交わします。ぜひこの機会を見逃さずに奮ってご参加ください。



札幌医科大学呼吸器外科 医局勉強会の様子

呼吸器

渡辺敦先生 分野会長講演

日時：2023年10月19日（木） 13:50～14:35
場所：会議棟 第1会場

本日10月19日午後から呼吸器外科分野会長 渡辺敦により分野会長講演をさせていただきます。

分野横断的胸部外科時代から現在の呼吸器外科、そして開胸手術から、胸腔鏡下手術、ロボット支援手術胸腔鏡下手術を実際に経験し、研究してきた渡辺敦が次世代に刻んでおきたいメッセージを盛り込んで講演いたします。

ご参加のほどよろしくお願いたします。





選択的アルドステロンブロッカー (SAB)

【処方箋医薬品】

セララ錠

25mg
50mg
100mg

日本薬局方 エプレレノン錠 薬価標準収載

注) 注意 医師等の処方箋により使用すること

禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意につきましては製品添付文書をご覧ください。

製薬会社
ヴィアトリス製薬株式会社
〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-1-2
文庫通り先及び問い合わせ先:メディアオンラインフォーメーション部

SEL7J001C
2021年10月作成



Joint Session 呼吸器JATS/AATS

日時：10月19日(木)17:20~18:50
場所：会議棟 第2会場

本日10月19日午後より米国Memorial Sloan Kettering Cancer Center からAATS次期会長David R. Jones先生をお招きしJATS /AATS Joint Sessionを開催させていただきます。胸部外科学会呼吸器分野では将来的にAATSとのジョイントセッションを定期的に行うことを企画しております。

まず本会におき、パイロット的セッションとして、「日米における肺癌に対する外科治療の現況 ー特に縮小手術についてー」議論を深める予定です。CQとして「日米の違いから学び取れるものは何か？」と銘打って、両国の呼吸器外科医にとってともに価値のあるディスカッションを期待しております。近年、肺がん診断精度の向上とともに手術症例においても小型病変の占める割合が増加しており、小型肺癌における区域切除の優位性を示したJCOG0802、JCOG1211試験の結果からも、今後縮小切除の増加が予想されます。

米国においてもCALGB14053試験の結果が公表され、主要評価項目の無病生存期間において縮小手術の肺葉切除に対する非劣勢が証明されており非常にhotな話題と考えます。Jones先生には“Current Status of Thoracic Surgery and Sublobar Resection for Lung Cancer in the United States”という演題で現在増加傾向であるstageI期非小細胞肺癌に対する縮小手術における再発リスク因子に関して最新の知見を発表していただく予定です。

本邦からはJCOG0802を論文にまとめて頂きました聖マリアンナ医科大学の佐治久先生と是非とも手技上のピットホールを示して頂きたいベテラン代表である東大和病院の大泉弘幸先生、さらにはこの分野に精通されている近畿大学の宗淳一先生にご登壇いただき、日本における縮小手術の意義、歴史およびその変遷についてご講演をいただきます。貴重な機会ですので奮ってご参加ください。

呼吸器

ご紹介

外国人招へい者

今回、呼吸器外科分野では5名の海外招聘者の先生方を招請させて頂きました。皆さん初日の本日10月19日に発表がございますので見逃さずにご覧ください。

一人目は香港Prince of Wales HospitalのCalvin S. H. Ng先生です。Ng先生には午前のワークショップ「呼吸器外科学における医工連携」で御講演いただきます。このセッションでは第5世代移動通信システム(5G)やAIといった最新技術が今後、どのように呼吸器外科学と融合していくのか大変興味深い内容となっております。二人目は英国St. James's University HospitalからESTSの元会長であるAlessandro Brunelli先生をお招きしシンポジウム「非小細胞肺癌に対する縮小手術の適応」で御講演をいただく予定です。先生は今までに本会に対しても多大な貢献をくださっており本学会で日本胸部外科学会海外名誉会員に選出されております。三人目はデンマークCopenhagen UniversityのRene Petersen先生です。Petersen先生はESTSでVATSの第一人者としてご活躍されております。午後のパネルディスカッション「区域切除におけるリンパ節廓清」で御講演いただきます。また、日本人留学生も多数お世話になっているカナダToronto General Hospitalから肺移植分野の第一人者であるMarcelo Cypel先生をお呼びし午後のパネルディスカッション「ドナー因子と肺移植成績」で御講演いただきます。夕刻には米国Memorial Sloan Kettering Cancer Center からAATS会長David R. Jones先生をお招きしております。2024度から正式発足する予定のJATS/AATS joint Sessionのパイロット的joint Sessionで日米における肺癌に対する外科治療の現況 ー特に縮小手術についてー」議論を深める予定です。

本日は呼吸器外科上級演題が非常に凝縮しており、どのセッションを拝聴するか迷うところですが、どのセッションも白熱したものとなると思いますので是非ご参加ください。



■ 食道困難症例検討セミナーのお知らせ ■

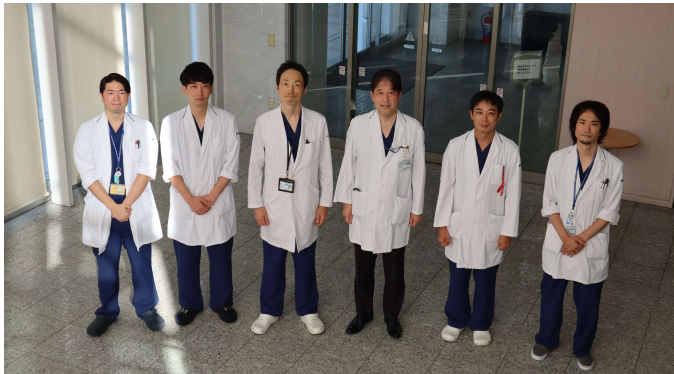
日時：2023年10月19日(木) 18:10～20:40

場所：展示棟 第9会場

主催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

毎年恒例となっております本セミナーですが、本年もジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社主催で開催されます。食道疾患は複雑な病態も多く、また手術についてもピットフォールが少なくありません。そのため実際に日常臨床において様々な苦勞をなさっていることと思います。上手くいった症例だけではなく、上手くいかなかった症例からも学ぶことは多く、その地道な学びが未来の食道癌患者さんに貢献すると考えております。

この貴重なご経験を広く皆様で共有し、考える機会にしたいと思っておりますので、ご参加のほどよろしくお願いたします。



がん研有明病院食道外科一同頑張ります！



がん研有明病院(東京都江東区有明)

領域横断的な学会の中での 食道外科の見どころ

食道分野の演題は主に10/20、10/21となっておりますが、それ以外にも領域横断セッションの中で食道分野の先生方のご講演がございます。

本日10/19午前には、ワークショップ「新たなチャレンジとしての低侵襲治療教育」として、若手代表浜松医科大学の坊岡英祐先生とベテラン代表北海道大学の七戸俊明先生にご登壇いただき、低侵襲食道切除術の教育と修練についてご講演をいただきます。またPros & Cons; 4ラウンド「フレイルティと向き合う」では、「フレイルティの修飾は治療成績を改善できるか？」というテーマで東京慈恵医科大学の高橋慶太先生と九州大学の中島雄一郎先生に食道癌手術に関してご議論をいただく予定となっております。

10/19午後からはパネルディスカッション「反回神経麻痺ゼロを目指したベストアプローチ」として、食道癌手術のスペシャリストである広島市民病院の白川靖博先生に「根治性と反回神経麻痺ゼロを目指した」手術手技についてご講演を頂く予定です。

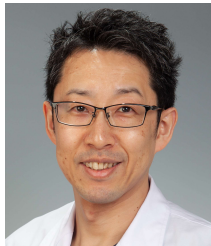
10/20午前にはパネルディスカッション「胸部外科領域における術中モニタリングの深化と未来像」が日本体外循環技術医学会との共同セッションとして組まれており、九州がんセンターの木村和恵先生に食道切除胃管再建における術中モニタリングについてご講演を頂きます。

また10/21午前にはシンポジウム「領域を横断して応用可能な医療機器と派生する新治療法の可能性」では、国立がん研究センター中央病院の栗田大資先生から「食道癌手術におけるリアルタイム3DCG可視化ソフトウェアの開発」について、埼玉医科大学国際医療センターの李世翼先生からは「組織酸素飽和度測定による再建胃管の血流評価」について、その先進的な取り組みをご紹介頂く予定です。いずれのセッションも食道分野以外の先生方もご講演され、3領域の理解が深まる注目度の高い内容となっておりますので、皆様ぜひ会場に足を運んでいただければと思います。

優 秀 演 題

優秀演題にノミネートされた6名の皆さまを紹介します

セッション：10月21日(土) 14:00~15:30 (会議棟 第1会場)



演題 「積極的領域切除において縦隔リンパ節郭清は必要か?」

JCOG0802試験結果から末梢小型肺癌に対し区域切除を施行する機会がこれまで以上に増加すると考えます。しかし同試験では区域切除群でも縦隔リンパ節郭清を必須としていたため、同対象で縦隔郭清が省略できるかはいまだ不明です。縦隔郭清の省略が可能となれば術後合併症リスクを低減できると考え、今回の研究を立案・実施いたしました。更なる低侵襲化への一助になれば幸いです。 神奈川県立がんセンター 足立広幸

演題 「2cm以下, consolidation tumor比>0.25, cN0非小細胞肺癌に対する区域切除と部分切除後のPropensity- score matching法を用いた予後比較:多施設共同試験」

今回2cm以下, radiological invasive早期肺癌に対する部分切除と区域切除後の予後の差を, 多施設共同データベースを用いてpropensity score matching法で解析しました。その結果両群間に全生存, 無再発生存, 肺癌特異的死亡発生率の差は認めませんでした。本研究が今後両術式を比較する臨床試験を立案する上での基礎的見地となれば幸いです。 神奈川県立がんセンター 伊坂哲哉



演題 「最先端イメージング技術—ハイブリッドレンダリング技術を用いた3次元画像解析法—」

本研究では最新の医用画像処理と情報理工学分野の3次元可視化・CG技術を融合し、心臓血管外科領域での正確な診断と最適な手術戦略の構築を目指している。我々はオランダPS Tech社で開発したVesalius3Dを用いて3次元空間上で心臓内腔を可視化し立体形状を瞬時に計測可能なハイブリッドレンダリング技術を確立した。本技術はさらに半自動計測への応用を進めており、今後の飛躍的な発展が期待される。滋賀医科大学 神谷賢一

演題 「大動脈弓縮窄・離断症の大動脈弓再建における術前の幾何学的評価に基づいた術式選択」
この度は優秀演題に選んでいただきありがとうございます。本演題は、「大動脈弓縮窄・離断症の大動脈弓再建における術前の幾何学的評価に基づいた術式選択」です。当院での、大動脈弓再建における工夫、術前CTでの幾何学的評価に基づいた術式選択、について報告できればと思います。よろしくお願い致します。 兵庫県立こども病院 久保沙羅



演題 「大動脈弁石灰化を制御する遺伝子の網羅的探索研究」

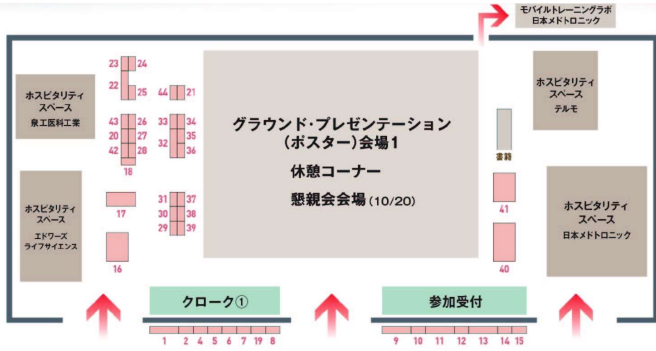
愛媛大学医学部医学科を卒業後、同大学院博士課程において大動脈弁狭窄症発症機序解明に向けて研究を推進しております。この度は大変名誉な発表の機会を頂き、本学術集会運営にご尽力されておられます方々並びに、研究のご支援頂いております泉谷裕則教授並びに医局の先生方に深く感謝申し上げます。研究成果を世界に発信し、医学の発展に貢献できるよう今後も力を尽くしてまいります。 愛媛大学大学院 薦田 宗則

演題 「食道癌大動脈浸潤症例に対して大動脈ステント挿入(TEVAR)を施行した27症例の検討」
この度は名誉ある日本胸部外科学会の優秀演題賞に選出いただき、大変光栄に存じます。抄録の査読ならびに選考に関わられた先生方に心より御礼申し上げます。当院における食道癌大動脈浸潤症例に対して大動脈ステント挿入(TEVAR)を施行した27症例の検討をさせていただきました。この受賞を糧にさらに邁進していきたく思います。今後ともよろしく願いいたします。 順天堂大学 渡邊武大





企業展示・ホスピタリティスペースのご案内



- | | | |
|-----------------------|------------------------------|-----------------------------|
| 1 スリーエム ジャパン株式会社 | 16 株式会社ジェイ・エム・エス | 31 オリジナルマーケティング株式会社 |
| 2 株式会社メディカルプロレス | 17 バクスター株式会社 | 32 胸部外科教育施設協議会 |
| 4 ノバ・バイオメディカル株式会社 | 18 株式会社アステム | 33 株式会社カイトー |
| 5 株式会社ベアメディック | 19 S Bカワミ株式会社 | 34 株式会社トライトック |
| 6 サンメディックス株式会社 | 20 テクノウッド株式会社様 | 35 ヘモネティクスジャパン合同会社 |
| 7 日機装株式会社 | 21 株式会社ライノス・インターナショナル | 36 タクト医療株式会社 |
| 8 エア・ウォーターメディカル株式会社 | 22 株式会社ホギメディカル | 37 シーメンヘルスケア・タイアグノスティクス株式会社 |
| 9 日本エー・シー・ピー株式会社 | 23 株式会社 Cardio Flow Design | 38 グンゼメディカル株式会社 |
| 10 ゼイオソフト株式会社 | 24 株式会社バイタル | 39 大正医療器械株式会社 |
| 11 株式会社ユニメディック | 25 神戸医療機器開発センター (MEDDEC) | 40 株式会社ハイレックスメディカル |
| 12 帝人メディカルテクノジー株式会社 | 26 Applied Medical Japan株式会社 | 41 Corcym Japan株式会社 |
| 13 ゲティンゲグループ・ジャパン株式会社 | 27 アルフレッサファーマ株式会社 | 42 マルファンネットワークジャパン |
| 14 株式会社河野製作所 | 28 USCIジャパン株式会社 | 43 AATS (アメリカ胸部外科学会) |
| 15 一般社団法人 日本血液製剤機構 | 29 有限会社メディカルトライシステム | 44 株式会社ジェイ・シー・ティ |
| | 30 AMI株式会社 | 書籍 アイエ書店株式会社 |



- ①リヴァノヴァ
- ②日本アビオメッド
- ③日本ゴア



キッチンカー
来てます♪

名取フードサービス

- ・北限のシラス丼 (ご当地)
- ・唐揚げ弁当
- ・牛丼、豚丼
- ・ドリンク

ほやほや屋

- ・ほや唐揚げ
- ・ほやほや丼
- ・ほや飯おにぎり (ほやメニューご当地)

翔屋

- ・油そば
- ・牛タンつくね串 (ご当地)
- ・台湾からあげ
- ・ソフトクリーム

営業時間：10時30分～16時まで

kafuu krepe

- ・秋保産そば粉のクレープ (ご当地)
- ・削りイチゴ
- ・ドリンク

stryker

Sonopet iQ

Ultrasonic Aspirator System

A new wave of brilliance

Performance & Versatility

Easy Set Up

Customization

PULSE control

医療機器認証番号 販売名

30100BZX00221000 ソノベット iQ

30100BZX00222000 ソノベット iQ 単回使用チップセット

※本製品に関するお問い合わせは弊社営業までお願いいたします。

製造販売業者

日本ストライカー株式会社

112-0004 東京都文京区後楽2-6-1 飯田橋ファーストタワー

P 03 6894 0000

www.stryker.com/jp

ワンTOM

- ・焼き芋プリュレ
- ・さつまいもチップス
- ・ずんだ春巻(ご当地)

他にもMENU盛り沢山！
展示棟エントランス広場でお待ちしております♪



It's not just what we make...
It's what we make possible.

Zimmer Biomet は可能性を追い求めます。

私たちは現状に満足せず、改善のために何ができるかを探求し続け
胸部外科領域の発展のために日々全力で取り組みます。

それこそが私たちの使命であり、これからも果たすべき責務です。

私たちは常に患者さんの立場でものを考え、優れた臨床成績を
生み出すために適した環境を医療従事者のみなさまに提供できるよう
努力し続けることを約束します。

© 2023 Zimmer Biomet